

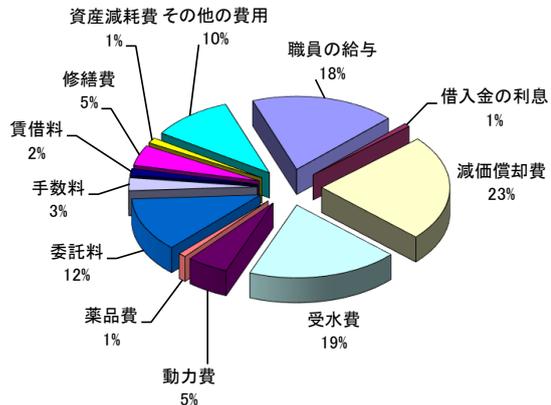
令和2年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。

町議会において、令和2年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	36.94
借入金の利息	1.6
減価償却費	47.48
受水費	38.53
動力費	10.57
薬品費	1.93
委託料	24.35
手数料	5.7
賃借料	3.04
修繕費	9.2
資産減耗費	2.43
その他の費用	20.81
計	202.58

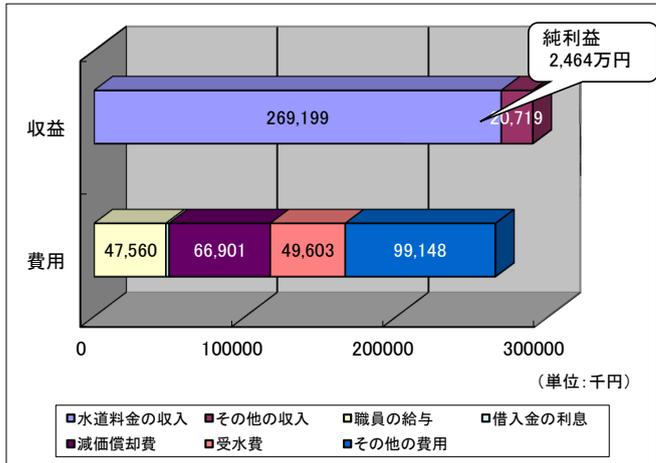
水道水1㎡当たりの費用 202円58銭



収益的収支・・・水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※令和2年度決算においては、2,464万4千円の純利益となり、利益剰余金807万8千円に転じました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	269,199,160
	その他の収入	20,718,580
費用(支出)	職員の給与	47,559,746
	借入金の利息	2,061,865
	減価償却費	66,901,067
	受水費	49,602,791
	その他の費用	99,147,990



※受水費・・・埼玉県企業局からの県水購入費

※減価償却費・・・水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)	
収入	289,917,740
支出	265,273,459
純利益	24,644,281

資本的収支・・・浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	出資金	0
	不足額の補てん	100,118,300
	固定資産売却代金等	14,521,000
支出	建設改良費	97,772,547
	企業債償還金	16,866,753
	有価証券購入費	0

